

インバウンドに向けたトップセールス成果は

町 当町の継続取り組み必要

問 8月4日から6日までの3日間、台湾を訪れたが成果は。

町長 那須の知名度がほとんど無名の地だと痛切に感じた。今後のトップセールスは単発に終わらせることなく、継続的に行っていきたい。また、日本全国の観光地に限らず、台湾や他の

可能性のあるところを猛アタック続けたい。

問 今後のインバウンドに関しての方向性は。

観光商工課長 台湾のお客様のニーズを把握し、当町の有する資源をうまくマッチングさせた形でセールスが出来ると検討する。

問 町にはゴルフ場が8つある。観光とゴルフバックで那須へ誘客する考えは。

観光商工課長 台湾内のリサーチだと、ゴルフニーズが高いので、今後町のゴルフ協議会、インバウンド協議会と連携し提案する。

町内の鳥獣被害対策は

町 実施隊を中心に活動

問 鳥獣被害が年々増えているが、捕獲活動について町の対策は。

農林振興課長 鳥獣被害の防止を図るために、那須町鳥獣被害対策実施隊を8月

に設置し、対策に努めている。

問 猿捕獲用巨大わな(10m×10m)を設置し、捕獲状況は。

農林振興課長 実績は上がっていないが、秋に向い群れごと入ってくれる事を期待している。また、実施隊のさらなる活躍で被害をなくすよう続けたい。

鹿3頭、熊1頭ですが、観光立町として観光客に、被害がでないよう対策は。

農林振興課長 実施隊を中心に、いろいろとやり方を考えながら進める。

問 平成27年度捕獲状況はイノシシ38頭、猿20頭、



平山 忠



六斗地内に設置された猿捕獲巨大わな



インバウンド誘客PR